

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護学概論	担当講師	谷口 留充
実施年次	1 年次	単位数	1 単位	時間数	30 時間
科目設定のねらい					
母性看護学は子どもを産み、育てるということに焦点を置いた内容とし、全体をとおして看護師の役割を学ぶこととする。新しい生命を宿して生み育てるという営みは看護の対象である人間の種族保存の側面から重要である。本科目では、健全な次世代の育成という母性役割に焦点を当て、母性の意義と特性、および母性看護の概念、ライフサイクルにおける各期の特徴、母性保健と保健指導の必要性を学ぶ。また母性看護領域において遭遇する倫理的問題をとりあげ、生命倫理、妊産褥婦、胎児および新生児の権利擁護について理解することをねらいとする。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
10	1. 母性看護の概念と特徴を理解する	1) 母性看護の概念および人間の性と生殖について	(1) 生殖に関する生理 (2) 母性とは、父性とは (3) 母性関係の確立、愛着・母子相互作用 (4) セクシュアリティ 性の多様性 性分化疾患 (5) 母性看護における対象の特徴 (6) 母性看護の中核理念と基盤となる概念	講義 グループワーク	
6	2. 母性保健の動向と対策を理解する	2) 母性保健の動向と母子保健施策	(1) 母子保健の統計と動向 (2) 母子保健に関する法律 (3) 母子保健施策 (周産期医療システム・子育て支援・母子保健法に関する施策) (4) 母性看護を担う場と職種・役割 (5) 母性看護における災害時の支援	講義 グループワーク	
6	3. 母性各期の特徴と看護の対象を理解する	3) ライフサイクルにおける各期の特徴と健康問題と看護	(1) 女性のライフサイクルとホルモン変動 (2) 思春期女性の健康と看護 (3) 成熟期女性の健康と看護 (4) 更年期・老年期女性の健康と看護	講義 グループワーク	
4	4. リプロダクティブヘルスに関する看護が理解できる。	4) リプロダクティブヘルスケアの現状と内容	(1) リプロダクティブヘルス／ライツ (2) リプロダクティブヘルスに関する動向 (3) リプロダクティブヘルスに関する法・施策（母体保護法・DV防止法） (4) 家族計画と受胎調節 (5) 性感染症とその予防 (6) 喫煙と女性の健康 (7) 人工妊娠中絶と看護 (8) 性暴力を受けた女性に対する看護	講義 グループワーク	
2	5. リプロダクティブヘルスに関する 倫理について理解する	5) リプロダクティブヘルスにおける倫理	(1) 生命倫理、妊産、褥婦、胎児および新生児の権利と擁護 (2) 出生前診断 (3) 人間の性と生殖や医療における倫理	講義 グループワーク	
2	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 国民衛生の動向・厚生指針 一般財団法人厚生労働統計協会				
参考文献	舟島なをみ 他編 看護のための人間発達学 第5版 医学書院				
評価方法	筆記試験、授業の取り組み状況、レポート				